

押小だより

て ん し ん ら ん ま ん

天真爛漫



令和7年5月2日
さくら市立押上小学校
令和7年度 第2号
文責：仁平 博幸

保護者や地域とともにある押上小学校



ゴールデンウィーク前半が終わり、明日から後半の4連休が始まります。いかがお過ごしでしょうか。

さて、先月（4月）は、18日に授業参観を実施し、その後、PTA総会と学年PTAが行われました。

（左写真は授業参観（1年教室）の様子）

総会では、多くの保護者の方にご参加いただき、昨年度と今年度のPTA活動に関する議事が話し合われ、全て承認をいただきました。昨年度の役員のみなさまには大変お世話になりました。PTA会長の矢澤様には昨年度に引き続きの大役を担っていただくことになります。感謝申し上げます。また、今年度の役員のみなさま大変

お世話になります。よろしくお願いいたします。

25日には、PTA各種委員会と理事会が行われました。新役員のみなさまによる顔合わせと今年度の計画が話し合われました。子どもたちのため、学校のために何ができるか考えながら協議いただいたことに感謝いたします。



14日の夕方には、「押小っ子ふれあいスクール」事前打ち合わせが行われました。

「ふれあいスクール」は、国が進める「放課後子ども教室」で、子どもたちが放課後を安心・安全に過ごすとともに、いろいろな体験活動を行うことを目的に、月1～2回程度実施しているものです。打合せには市生涯学習課の職員の方と、地域在住のサポーターのみなさまが集まり、今年度の計画について話し合われました。（左写真は昨年度のふれあいスクールの様子）

また、30日には、「まつのみ安全パトロール会議」を行いました（下写真）。「まつのみ安全パト

ール隊」は、今年13年目を迎える、地域のみなさまによる子どもたちの安心・安全を守る防犯組織で、本校の「学校応援団」とも言える組織です。子どもたちの登下校の付き添いや見守りなど、「できるときに」「できること」を「継続して」行っています。本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

本校勤務3年目を迎え、さらにこのような会議に出席する中で、あらためて、本校は保護者のみなさんに、また地域の方々に支えられていることを実感しています。これからの学校は「**地域とともにある学校**」として、「学校と地域がパートナーとして連携・協働しながら学びを展開していく学校」であることが求められています。本校では、保護者や地域のみなさまのさまざまな知恵や力をいただきながら、子どもたちが安心して学んだり遊んだりできる環境にあると思っています。子どもたちも教師も安心できることは、教師が子どもたちの力を伸ばし、子どもたちが自分の力を発揮できる学校、まさに、私が目指している「**だれもが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校**」につながるものと思っています。



なお、今年度のPTA活動テーマは「あいさつ、気付き、思いやり、博愛の心で 幸せのある学校」（2年目）で、ここにも「幸せ」を入れていただいていることに感謝申し上げます。

保護者のみなさま、地域みなさま、子どもたちのために、今後もお知恵やお力をお貸しいただき、さらに「保護者や地域とともにある押上小学校」となりますよう、そして「幸せを感じる押上小学校」となりますよう、よろしくお願いいたします。（仁平博幸）

本校が「幸せを感じる学校」となるための「3つのC&C」

上記にもあるとおり、私の願う本校の姿は「だれもが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校」です。前回の天真爛漫（第1号）ではその大切なポイントをお伝えしました。

今回は、「幸せを感じる学校」となるために大切にしたいアプローチ（支援・指導の考え方・しかけ）として考えました「3つのC&C」についてお伝えします。

**3C…”C”hance=チャンス・機会 ”C”hallenge=チャレンジ・挑戦 ”C”hange=チェンジ・成長
&C…”C”ontribution=貢献(自分の力をみんなのために)**

「3つのC」とはCが頭文字の「Chance（チャンス・機会）」「Challenge（チャレンジ・挑戦）」「Change（チェンジ・成長）」です。私は、幸せを感じるのは「成長を感じる時」と思っています。その「成長」は、その子が少しでも「変わる時」すなわち「Change」と捉えています。そして、ものごとに「挑戦」することで人は必ず成長すると思っています。挑戦し、もし、うまくいなくても必ずそこには「学ぶこと」があって、それが成長につながります。新たなことに挑戦せずには成長しない…そう考えています。

学校では、様々な「挑戦の場・機会」（Chance）を用意し、子どもたちに関わり、子どもたちが小さなことでも挑戦し、成長を感じる、そして幸せを感じる…そんな押上小でありたいと考えています。

さて、もう一つの「C」（「& C」）があります。これは、「Contribution」（貢献）です。この「もう一つのC」は『3つのCのベース』として大切にしたい考えとして、「他者やまわりへの貢献」を意味します。自己中心ではなく、「周囲を考え、自分の力を出しているか」「もっている力をまわりの人のため、チーム（学級や友だち）のために発揮しているか」ということを指します。自己中心にならず、どれだけ周囲を考え力を出しているかを大切にしたいと考えています。



この「3つのC&C」により、個人の幸福度が向上し、集団や学校全体の幸福度が向上し、最終的に「みんなが幸せを感じる学校」となることを願っています。

子どもたちに成長を感じさせるような様々なチャンスをつくりだし、子どもたちに挑戦をうながし、挑戦する姿を認め、励まし、どんな小さな成長も見出して子どもに伝え、成長を実感させるようにしたい。どんなことが我々大人ができるだろうかと、私自身ワクワクしています。この「3C&C」は、大人でも同じ。私自身も成長できるよう、挑戦していきたいと思っています。



◎4月の学校の様子から…

4月23日（水）○1年生を迎える会

・児童会代表委員と6年生が中心となって、みんなで1年生を迎える会を行いました。インタビューや「まつのみ班」（縦割り班）での校内めぐりなど、楽しく、そしてあたたかい会となりました。1年生からも「楽しかった」という声。全校児童が「幸せ」を感じるひとときにもなりました。子どもたちに感謝です。



押上小がこんな学校に…

**「だれもが安心して力を出し、
みんなが幸せを感じる学校」**

※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

押上小学校

で検索。

